

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(1)多様な文化芸術イベントの開催			
事業名	0 さいからのエンタメ「ポポバルの森の王子様」			
実施主体		(名称) ちばアートwind運営企業体		
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課			(連絡先) 245-5961 (内)90-2526

事業概要	開始年度		
	事業費	(予算) 市： 1,870千円 その他： 150千円	(決算) 市： 1,948千円 その他： 40千円
	内 容	前年度コロナ禍で配信開催となった事業を有観客にて実施。 バルーンアートの世界チャンピオンであり、医療施設へのバルーン贈呈などの社会貢献活動も行っている神宮工ミさんが主宰するバルーンパフォーマーチームを迎え、物語の中でバルーンを披露する。風船という身近な素材から種々多様なバルーンが創作できることを楽しみながら鑑賞し体験してもらう。	
	目 的	市内及び施設近隣の幼児、児童に対し、身近な施設にて親子で楽しめるエンタテインメントを提供し、保護者をはじめとした市民に対して若葉文化ホールの認知度を向上させると共に、舞台芸術に参加出来る機会を創出する	
	目 標	(数値)	(昨年度)YouTube配信 7 6 9 回（2022.2.11現在）
	ね ら い	(対象)市内並びに近隣在住幼児、児童、保護者を中心とした市民	
		(求める効果) 過去に開催し関心の高かったバルーンパフォーマンスをバージョンアップして開催することで、幼児、児童、保護者のホールイベントへの来場を促し、ステージパフォーマンスの楽しさを体験すると共に、身近にある風船という素材からアート作品が出来ることを目にする事で、様々な創作活動に触れる機会とする。 また、舞台芸術体験事業として継続しているキッズチア「わかばディベアーズ」がコロナ禍で発表機会が減少していることに対し、オープニングアクトとして成果発表の場を与える。	
		(アプローチ方法) 幼児、児童が好む風船（バルーン）を活用し、バルーンアート全米チャンピン経験のある神宮工ミさんがプロデュースするバルーンパフォーマー3人が、物語（お芝居）の中で、バルーンアートを披露し、家族で楽しめるショーを開催し、気軽にホールへ足を運ぶ機会とする。 千葉市教育委員会の後援を得、若葉区内保育園、幼稚園、小学校でのチラシ配布を行い、対象となる幼児、児童への広報活動を積極的に行う。周辺住民に対しても、自治会回覧板で公演の周知を行う。	
	実 績	公演当日が「まん延防止等重点措置」期間となったため、児童向け公演であり、子供たちの歓声・発声を前提として最大入場者数を200名と設定し166名の入場者となった。また、来場者をステージに参加させるなどの演出を取りやめ、ステージショーの観覧のみとして実施。 公演終了後、来場者にプレゼントする予定であったバルーンを千城台コミュニティセンターのロビーに展示し、来館した児童、利用者から好評を得ている。 顧客満足度調査のコメントより「バルーンのプレゼントがなかったのが残念だった」の声もあったが、一方、「子供が本気で怖がるほど楽しんでいました」「子供を楽しませてくれてありがとうございます」「コロナ禍の中で子供が楽しめるイベントでした」とのお声も頂いた。	
情報発信	☐ 市政だより ☒ H P ☒ ポスター・チラシ ☒ フェイスブック・ツイッター ☒ その他（自治会回覧板、みなさんの掲示板）		

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1	基本 施策 との 適合	(1) 妥当性	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 新たな児童向けコンテンツの制作を行い初演となるバルーンショーを若葉文化ホールで開催したことで、対象である児童を中心としたファミリー層の来場を得たこと、また、新たに「プラスワン100円」（お子様2人の場合、2名目は追加料金100円）という料金設定を行い保護者の費用負担を軽減し鑑賞機会を得やすくしていることから「基本施策1(1)多くの市民が気軽に文化に触れる機会の充実」について妥当と考えます。
		(2) 達成度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) コロナ禍での制限により演出内容の変更を行ったことで、本来実施する予定であった内容を100%実施することは出来ませんでしたが、物語の中で千葉にゆかりのあるキャラクターであるチーバくん、うらりくん、風太くんのバルーンを登場させ、「争いごとをしない」というメッセージを込めた物語は、児童に楽しんでもらえる公演になっており、来場者の客層がほぼ親子であったことから妥当と考えます。
		(3) 波及	☒	(評価の内容) ・「基本施策2(1)発表の場の提供」キッズシア「わかばティディベアーズ」への発表機会提供 ・「基本施策3(1)文化施設以外の場の活用」ショーで使ったバルーンを公演後、千城台コミュニティセンターロビーに展示 ・「基本施策5(1)魅力ある資源の活用」千葉市動物公園「風太くん」をバルーンで紹介
2	戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市民 主体	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 広報活動において、若葉区内保育園、幼稚園、小学校、緑区内保育園、幼稚園の計81施設でのチラシ配布を行い、顧客満足度調査による居住地および購入者履歴から、ほぼ100%が市内在住者であること。さらに、オープニングアクトで参加した「わかばティディベアーズ」20名は全員市民であり、来場した家族も市民であることから、妥当と考えます。
		(2) こども ・ 若 者	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 全入場者中、アンケート（顧客満足度調査）による同伴者の比率は、0～2歳11.8%、3歳～年長47.1%、小学校低学年29.4%、小学校中学年以上5.9%、有効回答者の94.2%が子供を同伴しており、子供の同伴無での大人一人での来場は2名のみであったことから、こども育成事業として妥当と判断します。
		(3) 領域 の 広 がり	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 公演の中で紹介されたバルーンを事後に千城台コミュニティセンターのロビーに展示し、公演を鑑賞していない方々にもバルーンを紹介。利用者の子供のみならず高齢の方々からも「凄いわね」「可愛いわね」の声を頂いており、公演だけにとどまらず、市民に鑑賞機会を提供している。 また、初の試みとして、公演の収録映像からダイジェスト動画を作成し、YouTube配信を開始しており、事業の実施報告と合わせ、施設の取り組みを周知する新たな取り組みを進めています。

3 事業のねらい	(1) 妥当性	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 子供が好む風船によるバルーンアートで風船から花や動物が作られるバルーンショーは気軽に鑑賞することが出来る舞台となっており、「基本施策1(1)多くの市民が気軽に文化に触れる機会の充実」を達成出来ていると考えます。 来場者のショー参加を中止の為、参加型については「わかばデディベアーズ」の参加に留まっておりますが、予定していた公演内容（子供たちへの舞台上でのグリーティング、パレードなど）を実施出来ていれば「基本施策1(2)参加・体験活動の促進」を達成出来たものと考えます。
	(2) アプローチ	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 幼児、児童が好むバルーンショーを開催したこと。若葉区、緑区の教育機関でのチラシ配布をメインのプロモーションとし、顧客満足度調査の結果からも、園・学校での情報取得が37.0%と高く、公民館、図書館、コミュニティセンター、子育てリラックス館など市内公共施設でのポスター掲示、チラシ配架を行っており、基本的なアプローチは妥当であったと考えます。
			(評価に関連する数値等) 情報取得（顧客満足度調査結果）：園・学校37.0%、館内チラシ25.9%、公民館等公共施設14.8%
4 市民との関わり	(1) 満足度	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 顧客満足度調査において、「お連れのお子様は公演を楽しんでおられましたか」の回答で90.0点と高得点を得ており、十分に満足度を提供出来た公演であったと考えます。 また、コメントに「影絵と和楽器 大人も子供も大好きです。3月公演楽しみです。」とのお声もあり、事業の認知と期待を高めていると考えます。
	(2) 周知度	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) 若葉区・緑区内教育機関でのチラシ配布。周辺自治会への回覧。市内公共施設へのポスター掲示、チラシ配架、みなさんの掲示板へのポスター掲出、ホームページ、SNSでの告知など行っており、妥当と考えます。市内におけるもっとも有効な広報は「市政だより」であり、毎年「広報計画書」を提出し市政だよりへの掲載を希望を出していますが、掲載の機会を得ておらず、掲載されることで、より市民への周知が出来るものと考えます。
			(評価に関連する数値等) 3 (2) に通知記載 教育施設89施設11,948部、回覧板60自治会1477回覧、公共施設116施設（各ポスター1枚・チラシ30枚）
5 効果	(1) 活動の活性化	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) ・コロナ禍において、安全に児童向け公演を開催出来たこと。 ・これまで児童向け公演は基本無料としてきたが、今回初めて完全有料化を行った。コロナ禍のため、入場者減が有料化によるものか推測できないが、有料公演開催の今後のテストケースとなった。
	(2) 費用対効果	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 収支としては若干の赤字決算となったが、この時期に公演を開催し、児童へのエンタテインメント体験機会を与えることが出来たことで、妥当と考えます。
	(3) その他の効果		(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載（地域活性化等なんでも可） ・コロナ禍で発表機会の減っている舞台芸術体験事業キッズチア「わかばデディベアーズ」が観客の前で演技を行う貴重な経験を得たことは、意義があったと考えます。 ・来場者へのプレゼントが出来なくなったことにより、千城台コミュニティセンターロビーにバルーン展示を行ったことで、ホール事業を周知する一端になったと考えます。
			(評価に関連する数値等)